

平成24年度岐阜県図書館改革アクションプラン 自己評価シート

【広域性の発揮】

評価の観点	【広域性の発揮】 市町村図書館等のバックアップ、利用促進
評価項目	愛知・三重・富山・石川・福井の各県立図書館との相互協力協定に基づく各館の相互貸借業務支援の充実
関連数字目標値	<p>①県図書館相互貸借貸出冊数：15,000冊 ②相互貸借定期便 県内図書館間利用数：8,720冊 ③相互貸借定期便 県内・東海北陸地区利用数：2,300冊</p> <p>{ ①：当館が相互貸借で貸出したすべての冊数 ②：県内市町村図書館どうし(当館は除く)で借り受けした冊数 ③：県内図書館(当館を含む)が東海北陸5県から借り受けた冊数</p>
取り組み内容	・中部2県立図書館は週2便、北陸3県立図書館は週1便、それぞれ送料片道負担で定期配送便を運行している。
取り組みの成果	<p>①県図書館相互貸借貸出冊数：13,857冊 ②相互貸借定期便 県内図書館間利用数：10,008冊 ③相互貸借定期便 県内・東海北陸地区利用数：2,677冊</p>
今後の予定・課題	・県内市町村図書館とその利用者に対して、相互貸借サービスのPRを行い、利用を促進する。

評価の観点	【広域性の発揮】市町村図書館等のバックアップ、利用促進
評価項目	図書館職員向け研修の充実
関連数字目標値	県内図書館職員向け研修における満足度指数 : 90%
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・初任者専門研修(県図書館主催、6月1日、会場:瑞浪市民図書館)の開催。 ・司書等研修会(県教育委員会主催)を全4回開催。 ①6月8日 会場:岐阜県図書館、②6月28日 会場:関市わかさプラザ、③7月6日 会場:海津市海津図書館、④7月13日 会場:美濃加茂市東図書館 ・全県下の職員が参加しやすいよう、県内各地区で研修を開催。 ・昨年度のアンケート結果や日頃の県内図書館職員のニーズを踏まえたテーマ、講師の設定。 ・【新規】新司書課程科目の導入(図書館情報技術論入門、中堅職員が新たな知識を学ぶ機会を設定)。 ・【新規】人づくり文化課を経由しての私立高等学校への開催要項の配布(研修機会の少ない私立高校職員のスキルアップに寄与)。 ・【改善】研修要項記載事項の見直し(科目一覧に研修内容と想定する対象者を明記)。
取り組みの成果	<ul style="list-style-type: none"> ・初任者専門研修と司書等研修会(全4回)の受講者満足度は、96.0%となり、目標値である90%だけでなく、平成23年度の93.3%を上回った。 ・対象を公共図書館職員に絞ったテーマ設定と、募集時のアナウンスにより、受講者満足度が上昇したと考えられる。 ・初任者専門研修と司書等研修会(全4回)の参加者数は、のべ303名、1回当たりの参加者数は60.6人となり、平成23年度の54.7人を上回った。 ・公共図書館からの受講者が全体の80.4%(23年度76.1%)と増加した。対象を公共図書館職員に絞ったテーマ設定によるものと考えられる。 ・新司書課程科目(図書館情報技術論入門)を導入したところ、経験年数を重ねた職員からも、新たな知識を得られた等、好評であった。 ・私立高等学校への要項を配布した結果、高校からの受講者12名中3名の参加があった。
今後の予定・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度のテーマ設定、講師選定においても、受講者ニーズを反映させたものにしていく。 ・新司書課程科目について、引き続き中堅職員のスキルアップのために設定していく。

評価の観点	【広域性の発揮】市町村図書館等のバックアップ、利用促進
評価項目	出前講義・相談の拡充
関連数字目標値	市町村図書館への出前講座等：20回
取り組み内容	<p>【従来からの取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に、市町村図書館へ出前実施要項を配布。 ・市町村図書館から研修について相談を受けた際に、出前を紹介。 <p>【新たな取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前の受け入れ態勢を整備。 （要望の多い児童図書関係の出前に児童担当者が出向いても窓口業務に支障が出ないように、企画振興係の職員が補助に入るようにした）
取り組みの成果	<ul style="list-style-type: none"> ・18回 ・出前の受け入れ態勢整備は、出前希望を増やす効果はないが、受け入れ側の心理的な負担を軽減する効果はあった。
今後の予定・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・指標の対象以外の団体からの出前希望が多く、年間の総出前件数を増やすことは難しい。そのため、市町村図書館に対象を絞った上で出前希望を積極的に受ける態勢に変更し、その他の団体からの出前は極力抑える方向にシフトする必要があるかもしれない。 ・児童図書関係の出前希望が多く、出前に出向く職員に偏りがあるため、他の業務についての出前についても、プログラムを提示するなどして、広報する必要がある。

評価の観点	【広域性の発揮】市町村図書館等のバックアップ、利用促進
評価項目	地区別館長意見交換会の実施
関連数字目標値	
取り組み内容	<p>以下の日程で実施した。</p> <p>岐阜地区：11月20日（火） 会場：羽島市立図書館 中濃地区：12月19日（水） 会場：美濃加茂市中央図書館 西濃地区：1月9日（水） 会場：大垣市立図書館 東濃地区：1月28日（月） 会場：瑞浪市民図書館 飛騨地区：1月31日（木） 会場：高山市図書館</p>
取り組みの成果	<p>これまで館長同士が集い意見交換する場はあまりなく、有意義な試みとなった。館長が他館の取り組みや他館の館長の考え方を直接知ることができ、今後の各館の運営の参考にすることができた。また、岐阜県図書館にとっても、市町図書館の現状と要望を知る良い機会となった。</p>
今後の予定・課題	今後も同様の機会を持てるよう計画したい。

評価の観点	【広域性の発揮】市町村図書館等のバックアップ、利用促進
評価項目	地区別意見交換会(一般職員対象)の実施
関連数字目標値	
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県公共図書館協議会地区理事に、各地区での会議や研修会の機会に意見交換会を開催してもらうよう依頼。 ・前期、飛騨地区(9月4日、高山市図書館会場)、可茂地区(9月11日、美濃加茂市東図書館会場)、西濃地区(10月19日、海津市海津図書館会場)の3地区で意見交換会を実施。 ・各図書館からの運営相談に応じるとともに、県図書館への要望等の把握に努める。
取り組みの成果	<ul style="list-style-type: none"> ・5月下旬の早い時期に各地区理事に依頼した結果、平成23年度よりも早く意見交換会を設定することができた。 ・事前に協議事項が寄せられた可茂地区については、館内各係から県図書館の事例や市町図書館へのアドバイスを聴取、回答を準備し、当日発表した。 ・美濃地区(1月25日、美濃市図書館会場)、東濃地区(1月28日、瑞浪市民図書館会場)、岐阜地区(2月28日、一宮市立中央図書館)で実施した。
今後の予定・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・県図書館から周知を図るべき事項があれば、係の枠を越えて意見交換会に参加し、県内公共図書館職員に情報を伝える機会とする。 ・テーマを設定し(例:児童サービス担当、相互貸借担当等)、実務担当者として県図書館職員が直接意見交換を実施する機会も設けたいと考える。

評価の観点	【広域性の発揮】市町村図書館等のバックアップ、利用促進
評価項目	相互協力通信の発行と充実
関連数字目標値	
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の発行を継続。 ・5月号より、新コーナー「県図書館スタッフ紹介」を設け、係単位で業務内容と担当職員を紹介(県内市町村図書館から気軽に問い合わせてもらえる雰囲気醸成)。 ・「県図書館からのお知らせ」コーナーには、県外の研修情報なども掲載し、情報提供を実施。
取り組みの成果	<ul style="list-style-type: none"> ・通信を見て、研修に関する問合せが入ったり、寄贈資料が送られてきたりと、市町図書館からのリアクションがみられた。 ・相互貸借に関する注意事項として、このような内容を掲載して欲しい等、記事掲載の依頼も寄せられるようになってきた。 ・平成23年3月号で、新しい取り組みやイベントを実施している県内市町図書館を2館紹介したが、その後紹介できずにいる。
今後の予定・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・県図書館からの情報を発信するだけでなく、県内市町図書館の新しい取り組みやイベントを広く紹介し、各館への取組みに活かしてもらえるよう、情報収集、提供に努めていきたい。

評価の観点	【広域性の発揮】 大学図書館・学校図書館との連携
評価項目	岐阜大学および中部学院大学・中部学院大学短期大学部との相互貸借、連携事業の実施
関連数字目標値	
取り組み内容	<p>大学図書館との相互貸借と連携事業を継続している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜大学とは送料片道負担、中部学院大学・中部学院大学短期大学部とは定期便により相互貸借を実施。 ・その他の大学とは、必要に応じて、随時、相互貸借を実施。 ・岐阜大学との共催研修会を開催。テーマは「電子書籍」。
取り組みの成果	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜大学への貸出:4冊 岐阜大学からの借受:1冊 ・中部学院大学への貸出:20冊 中部学院大学からの借受:10冊 ・中部学院大学からの借受については、定期便を運行していることにより、他の所蔵大学から直接借り受けるよりも経費の節減を図ることができている。 <p>岐阜県図書館・岐阜大学図書館研修会(9月26日 会場:岐阜大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ「図書館における電子書籍提供サービスについて」 ・参加者 27名
今後の予定・課題	現在の取り組みを継続する。

評価の観点	【広域性の発揮】 大学図書館・学校図書館との連携
評価項目	小中学校等へのセット文庫貸出
関連数字目標値	セット文庫貸出校数:100校(延べ)
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に各校へセット文庫のPR文書をメールで送付。 ・学校長、学校司書の会合でPR文書を配布。 ・教諭、学校図書館担当者が施設見学に訪れた際、現物をもって利用方法などをPR。 ・平成24年度の利用実績を学校支援の参考とされるよう、市町図書館に報告した。
取り組みの成果	セット文庫貸出校数:80校(平成23年度:71校)
今後の予定・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・一部のセットに申し込みが重なる一方、一度も利用がないセットがある。カリキュラムやおすすめ利用方法などとあわせてのPRが必要である。 ・市町の図書館からは、自館でフォローできないためセット文庫はありがたいという声もあるが、学校が地元の図書館を飛び越えて当館に依頼をされるケースがある。市町図書館の学校貸出への対応状況を調査、PRし、学校→市町図書館→県図書館の流れを定着させたい。

評価の観点	【広域性の発揮】 大学図書館・学校図書館との連携
評価項目	高等学校図書館からの図書購入リクエストの受付
関連数字目標値	
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・従来より、高等学校図書館からの図書購入リクエストを受け付け、利用度や価格などの問題から高等学校図書館では収集しがたい図書を県図書館で収集することで、資料の充実と高等学校図書館のバックアップを図っている。 ・昨年度、校長会においてリクエスト制度のPRを実施。今年度はリクエスト制度の案内チラシを作成し、申込票とともに学校間ネットの掲示板に掲載しPRした。
取り組みの成果	リクエスト件数：24件（平成23年度：18件）
今後の予定・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市町図書館同様、県図書館の資料費減少に伴い高校図書館からのリクエスト件数も減少しており、リクエストを控えていることが推察される。 ・受付件数だけでなく、利用館の増加が課題である。 ・平成25年度以降も機会をとらえてリクエスト制度をPRしていく。 ・収集方針や流通状況によりリクエスト資料を収集できないこともある。市町図書館の所蔵状況や相互貸借の案内等、求める資料を提供に導く代替方法を紹介し、リクエストの減少を招かないためのフォローが必要である。

【専門性の発揮】

評価の観点	【専門性の発揮】 当館職員の専門性の向上
評価項目	パスファインダーの体系的な作成(1人1パスファインダー)
関連数字目標値	県図書館パスファインダー作成件数
取り組み内容	より県民の生活に密着したテーマでのパスファインダー作成に向けて、平成24年11月実施の利用者アンケート回答を参考に、身近なテーマを選定。
取り組みの成果	今年度は20点作成した。
今後の予定・課題	利用度の測定方法について検討する。

評価の観点	【専門性の発揮】 当館職員の専門性の向上
評価項目	各書架担当者による開架閲覧室資料の見直しを通じた専門性の向上
関連数字目標値	
取り組み内容	<p>【一般資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者が目的の図書にアクセスしやすい環境を整備するため、開架3類図書の分類細分化について検討した。 <p>【郷土資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冊子体からPDF版に切り替わった行政刊行物の洗い出し
取り組みの成果	<p>【一般資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館としての主体的な課題解決支援の姿勢を示すこと、書架担当者による書架管理を容易にし、より適切な開架書架構成を実現することを狙いとする。 <p>【郷土資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法務・情報公開課担当者に働きかけながら、行政刊行物の収集につとめている。
今後の予定・課題	<p>【一般資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度実施に向け、具体的な分類内容、作業スケジュールを策定する。 ・今後、3類以外でも細分化した方が良いと思われる分類について、各書架担当者から意見を集約する。 <p>【郷土資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・把握した行政刊行物を作成している各課への照会を行う。 ・年刊等の定期的な刊行物について、欠号があれば欠号の寄贈依頼をする。

評価の観点	【専門性の発揮】 専門性の高い資料の収集と提供
評価項目	専門雑誌の増加
関連数字目標値	
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度に工業・産業分野を中心に増やした専門誌を、平成24年度も継続して収集している。 ・平成22年度までに購入を中止し、平成23年度に欠号分を補充した10誌の収集を再開した。
取り組みの成果	<ul style="list-style-type: none"> ・雑誌等定期刊行物は、最新の情報を得るだけでなく、過去の事象を調べるためにバックナンバーが活用でき、図書館資料として継続的な収集が望まれる資料である。欠号補充も必要であるが、10誌の最新号を発行の都度利用できるようになった点が今年度の充実点である。
今後の予定・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・継続収集に加え、県民の課題解決に必要な専門雑誌を積極的に収集する。

評価の観点	【専門性の発揮】 専門性の高い資料の収集と提供
評価項目	児童図書研究室参考資料研究書の取り扱い見直し計画の策定 児研パックの作成と利用促進
関連数字目標値	児童図書研究室資料のパッケージ作成件数: 12件(累計)
取り組み内容	<p>①平成24年3月(昨年度末)に、児童図書研究室の参考資料(大人向けの研究書: 作家論・作品論、昔話研究、読書指導、読み聞かせやブックトークに関するガイドブック等)を貸出可能とした(これまでは特別貸出にて対応)。</p> <p>②県立図書館としての児童サービス及び児童図書研究室の在り方について、今後の方針を係内で作成。</p> <p>③児童図書研究室の今後の運営に関して、7月12日に館長・副館長・総務課長・サービス課長・サービス第一係長・児童担当で検討会議を開催。</p> <p>④児研パックの追加作成。</p> <p>⑤児童図書研究室のPR。</p>
取り組みの成果	<p>・上記①について、平成24年度の児童図書研究室(開架)入室数は242人(平成23年度: 160人)。同児童図書研究室参考資料(統計分類: 3A)の貸出数の月平均冊数は約46冊(同昨年度「特別貸出」約27冊)。児童図書研究室及び所蔵資料の利用が少しずつ広がっている。また、利用者に対し児童図書研究室への入室時に研究室の機能をPRしている。(なお、児童図書研究室資料全体の貸出数は平成23年度1558冊、平成24年度は3177冊であった。これは特定の公共図書館が過去発行された絵本を再選書のために昨年度1年間継続利用していたことによる増加である。)</p> <p>・上記②に基づいて③で検討。県立図書館として、県民や県内図書館のニーズを把握して、それに対応した研究室運営が必要(高齢者向けの児童資料活用方法の検討や、親やボランティア等向けのサービス等など新たな方向を探る)であることを確認。</p> <p>・児童図書研究室からの情報発信については、相互協力通信掲載の児童図書研究通信「プチあひるの子」や出前講座等において、研究室資料の案内や活用方法、各種講座や研修報告などを紹介した。</p> <p>・上記④については平成24年度は5件作成し(A勉強会パック「ブックトーク」「主題別読みくらべ 伝記 野口英世」「主題別読みくらべ 伝記 リンカーン」、Cおまかせパック「新刊絵本」「小学校国語教科書で紹介された本」)、累計15件となった。</p> <p>・上記⑤について、児童図書研究室入口に設置する予定の情報案内掲示板の作成について検討した。また、広報担当と相談しながらホームページのトップページでのレイアウトを工夫し、児童図書研究室の存在をアピールした。</p>
今後の予定・課題	<p>児童図書研究室の研究機能や情報発信機能の強化を行い、県立図書館としての児童サービスを展開するための方策を引き続き検討し、実施する。(岐阜市立図書館新館の児童コーナー運営も考慮に入れ、役割分担を明確にする。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 児童図書研究室を知ってもらうための方策(利用しやすい雰囲気づくり) 2. 児童図書研究室を利用してもらうための方策(所蔵資料を活用した講座・研修の実施、資料活用事例の発信、「児研パック」の作成を継続。) 3. 児童図書研究室を情報発信・情報交流の場とするための方策(掲示板の設置、子どもの読書活動推進団体等による活用の推進、研究室発行の資料のPR。) 4. 研修機能を発揮するための方策(人材育成を意識した講座内容の工夫。実施講座情報の公開と配布資料等の情報提供の検討。)

評価の観点	【専門性の発揮】 専門性の高い資料の収集と提供
評価項目	障がいのある方へのサービス 音訳のためのマニュアル等をホームページで公開
関連数字目標値	岐阜県内図書館障がい者サービス実施館(市町村図書館等34館中):22館
取り組み内容	音訳に関するマニュアルや各種様式を「録音図書作成の手順」としてまとめ、ホームページ上で公開した。あわせて、当館主催の音訳講習会(初級課程)を市町図書館に公開した。
取り組みの成果	<ul style="list-style-type: none"> ・県図書館の音訳マニュアルをインターネット端末から閲覧できるようになった。 ・音訳講習会(初級課程)には、県内市町図書館2館からの参加があった。
今後の予定・課題	<p>・障がい者サービスの最重要課題として、県内市町図書館におけるサービスの普及に引き続き取り組みたい。</p> <p>研修会などで障がい者サービスについて啓発しつつ、今後はより踏み込んで、音訳等に関する専門的知識を持つ職員の育成を目指したい。</p> <p><具体的な取り組み例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・司書等研修で、「障がい者」サービスを取り上げる。 ・当館音訳研修会を市町図書館職員に公開する。

評価の観点	【専門性の発揮】 専門性の高い資料の収集と提供
評価項目	岐阜県関係情報のデータベース作成の推進
関連数字目標値	県図書館郷土関係等二次的資料作成件数:70件
取り組み内容	・郷土新聞記事検索、郷土雑誌記事検索のデータ入力作業
取り組みの成果	・特に岐阜新聞について、入力作業が遅延している。
今後の予定・課題	・今後も同様に進めて遅れを改善する。

評価の観点	【専門性の発揮】 専門性の高い資料の収集と提供
評価項目	郷土資料のデジタル化および既存のデジタルコンテンツ整備の計画的な実施
関連数字目標値	県図書館郷土関係等二次的資料作成件数: 70件
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度に作成したデータ(市町村誌等目次データ等)の公開。 ・既存のデジタル化資料を広報用に編集して公開した(『蝶蛾鱗粉転写標本』)。 ・地域情報化アドバイザー派遣事業の活用。
取り組みの成果	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度末の達成を目指していた数字目標値(100件)を完了することができた。 ・地域情報化アドバイザーから、再来年度のシステム更新時に留意する点や今後のデジタルアーカイブの在り方について、助言を受けることができた。 ・『蝶蛾鱗粉転写標本』のことが読売新聞に掲載された。
今後の予定・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェブ未公開データの公開準備。 ・地域情報化アドバイザーからの助言を参考に、デジタルアーカイブ事業について検討する。

評価の観点	【専門性の発揮】 県行政機関との連携
評価項目	県行政情報に関係するパンフレットの設置
関連数字目標値	
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・労働雇用課、産業技術課と連絡をとり、趣旨を説明し、パンフレット提供を依頼した。
取り組みの成果	<ul style="list-style-type: none"> ・7月に夢チャレンジコーナーにて、就業支援機関、教育機関パンフレット、イベントチラシを設置した。 ・9月には就農関係のパンフレットも設置した(農業経営課の依頼)。(就農関係のパスファインダーも設置)
今後の予定・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・既設コーナー(健康医療情報、子育て支援等)にあわせて、県担当課からパンフレットをもらうことが各種コーナーの充実になり、効果的である。

評価の観点	【専門性の発揮】 県行政機関との連携
評価項目	県政に関するテーマ展示
関連数字目標値	
取り組み内容	<p>【ぎふ清流国体展示】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぎふ清流国体・ぎふ清流大会開催にあわせて、昨年度から継続して、2階企画展示コーナー等で国体の展示を行った(～10月14日)。 <p>【就農情報の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業経営課の要望により、就農に関する図書を夢チャレンジコーナーに設置した(9月12日)。
取り組みの成果	<p>【ぎふ清流国体展示】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展示コーナーとロビーでの展示は多くの利用者の目に留まることとなり、国体の機運を盛り上げることができた。 <p>【就農情報の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夢チャレンジコーナーは就業に関心が高い利用者が見るため、効果があり、設置した関連資料の大半が常時貸出中である。
今後の予定・課題	・社会情勢や県施策の動向に注視して、次回の展示を検討する。なお、現在、ふるさと教育に係る展示を企画中。

評価の観点	【専門性の発揮】 県行政機関との連携
評価項目	県美術館との連携事業の実施
関連数字目標値	
取り組み内容	<p>【企画展示】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「国枝英男のペーパーワールド メルヘン歳時記」を児童コーナーにて開催(7月28日～8月30日)。県美術館でワークショップ講師を担当した作家国枝英男氏のペーパークラフト作品を当館児童コーナーで展示。作品のテーマにあった絵本の展示や関連資料の紹介をあわせて行った。 <p>【ロビーでの資料展示】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県美術館の企画展「三幕の物語」「象徴派」「マルク・シャガール」「体感アート@県美.com」それぞれにあわせて展示ケースに資料を展示し、関連資料リストも設置した。
取り組みの成果	<p>【企画展示】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートによる満足度は98.5%。 ・子どもやその親を中心に、絵本を読みたくなった、ペーパークラフトを作りたいとなったとの意見が寄せられた。 <p>【ロビーでの展示】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料リスト(100部)がほぼなくなった。
今後の予定・課題	・来年度も継続して、県美術館紹介の作家に館内で作品展示を行ってもらい(作品にあわせた資料展示も行う)、企画展にあわせた資料展示も行う。

評価の観点	【専門性の発揮】 県行政機関との連携
評価項目	専門図書館との連携
関連数字目標値	
取り組み内容	県内専門図書館との相互貸借・レファレンス協力を継続している。
取り組みの成果	<ul style="list-style-type: none"> ・県内専門図書館への貸出:25冊 県内専門図書館からの借受:3冊 県内公共図書館が所蔵しない資料を専門図書館から借り受けて利用者に提供することができる。 ・県内専門図書館からのレファレンス受付:8件
今後の予定・課題	・現在の取り組みを継続する。

【効率性の発揮】

評価の観点	【効率性の発揮】 経営の視点
評価項目	AVサービス見直し計画の策定
関連数字目標値	
取り組み内容	<p>AV資料については、収集は郷土に関するもののみを収集することとし、収集計画の改訂がなされた。</p> <p>提供については、レーザーディスク・ビデオテープ・DVD・カセットテープ・CDと種類ごとに、分類別内訳と館内視聴の状況、館外貸出の状況(10/25～11/24)を分析し、それぞれの再生機器の生産状況や近隣のサービス状況の動向も調査した結果、「館内視聴は停止・館外貸出は継続」の方針を2/14の幹部会にて決定。館内視聴サービスをいつどのように停止していくかを提案する。</p>
取り組みの成果	見直しの方向は決定。具体的な計画を策定中。
今後の予定・課題	館内視聴サービスの停止計画と、郷土資料(AV資料)の保存・提供の方法の策定。

評価の観点	【効率性の発揮】 経営の視点
評価項目	雑誌スポンサー制度の活用
関連数字目標値	雑誌スポンサーによる寄贈雑誌種数（目標値12タイトル）
取り組み内容	・ウェブサイトにて雑誌スポンサーの募集案内を公開している。
取り組みの成果	・昨年度から引き続き、3者から9誌の寄贈を受けていたが、1者から11月をもって辞退の申し出があり、2者4誌となった。
今後の予定・課題	<p>・スポンサーに好まれる雑誌(手に取られやすい週刊誌、情報誌等)と、図書館が収集する雑誌(主に専門性の高い雑誌)に乖離が見られる。</p> <p>・スポンサー期間が満了し更新されない雑誌を継続収集するためには予算が必要となる。非更新を想定して予算に余裕を持たせておく必要があり、寄贈雑誌の価格相当の資料費の削減にはつながらないが、経営の視点から今後も事業を継続する。</p> <p>・新規のスポンサー、広告の審査に対する事務量の多さが課題である。</p>

評価の観点	【効率性の発揮】 経営の視点
評価項目	図書館の役割について広く理解を得る
関連数字目標値	
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「図書館長ミズノによる図書館活用講座」を開催(10月27日)。図書館の役割とともに、図書館の活用方法を解説した。 ・講座の資料と音声を担当ウェブサイトに載せることで、参加できなかった方も受講できるようにした。
取り組みの成果	参加者26名。ウェブサイトの資料を見た方からの反響もあった。
今後の予定・課題	図書館の活用を目的とした講座を定期的を開催することで、図書館への理解を促す必要がある。

評価シート 数字目標値達成状況

広域性の発揮のための具体的数字目標値

指標		H23	H24	H25	評価
県図書館相互貸借貸出冊数	目標	15,000冊	15,000冊	15,000冊	A
	実績	13,010冊	13,857冊		
	達成率	87%	92%		
県図書館ウェブサイトアクセス件数	目標	350,000件	350,000件	350,000件	B
	実績	272,155件	285,008件		
	達成率	78%	81%		
市町村図書館への出前講座等	目標	20回	20回	20回	A
	実績	16回	18回		
	達成率	80%	90%		
県内図書館職員向け研修における満足度指数	目標	85%	90%	90%	A
	実績	93.3%	96%		
	達成率	110%	107%		
セット文庫貸出校数	目標	100校	100校	100校	B
	実績	71校	80校		
	達成率	71%	80%		
数字目標値についてのコメント（自己評価）					総合評価
すべての指標において、今年度の実績は昨年度を上回った。しかし、目標とした数字に達成した指標は研修における満足度のみであった。					B

専門性の発揮のための具体的数字目標値

指標		H23	H24	H25	評価
県図書館レファレンス件数	目標	8,026件	8,400件	8,800件	B
	実績	8,026件	6,928件		
	達成率	100%	82%		
県行政機関（県職員）からのレファレンス件数	目標	44件	48件	53件	B
	実績	35件	32件		
	達成率	80%	67%		
県図書館レファレンス満足度	目標	80%	85%	90%	B
	実績	73%	61%		
	達成率	91%	72%		
県図書館パスファインダー作成件数（累計）	目標	50件	70件	90件	A
	実績	51件	72件		
	達成率	102%	103%		
県図書館郷土関係等二次的資料作成件数（累計）	目標	40件	100件	-	A
	実績	75件	100件		
	達成率	188%	100%	完了	
児童図書研究室資料のパッケージ作成件数（累計）	目標	7件	12件	17件	A
	実績	10件	15件		
	達成率	143%	125%		
数字目標値についてのコメント（自己評価）					総合評価
パスファインダーや郷土関係等の二次的資料、児童図書研究室資料のパッケージといったレファレンスの補助となるツール作成においては、増加している。しかし、レファレンス件数や満足度は昨年度に比べ大幅に減少している。					B

効率性の発揮のための具体的数字目標値

指標		H23	H24	H25	評価
所蔵資料利用率	目標	103%	110%	117%	C
	実績	85.2%	76.1%		
	達成率	83%	69.1%		
雑誌スポンサーによる寄贈雑誌種数	目標	12タイトル	12タイトル	12タイトル	C
	実績	9タイトル	4タイトル		
	達成率	75%	33%		
総合案内窓口満足度	目標	80%	85%	90%	B
	実績	82%	76%		
	達成率	103%	89%		
窓口サービス満足度	目標	80%	85%	90%	B
	実績	74%	74%		
	達成率	93%	87%		
数字目標値についてのコメント（自己評価）					総合評価
ほとんどの指標で昨年度より実績、達成率ともに低下した。					C

（参考指標）県全体のサービスの指標にかかわる具体的数字目標値

指標		H23	H24	H25
県内公共図書館貸出冊数（当館以外）	目標	11,010,000冊	11,405,000冊	11,800,000冊
	実績	10,181,050冊	10,147,775冊	
	達成率	92%	89%	
県内公共図書館登録者数（当館以外）	目標	988,600人	1,023,800人	1,059,000人
	実績	966,778人	1,012,912人	
	達成率	98%	99%	
相互貸借定期便 県内図書館間利用数（冊）	目標	8,330冊	8,720冊	9,100冊
	実績	8,648冊	10,008冊	
	達成率	104%	115%	
同 県内・東海北陸地区利用数（冊）	目標	2,200冊	2,300冊	2,400冊
	実績	2,894冊	2,677冊	
	達成率	132%	116%	
県内外パスファインダー利用可能件数	目標	152件	206件	260件+ α
	実績	109件	155件	
	達成率	72%	75%	
岐阜県内図書館障がい者サービス実施館（市町村図書館等34館中）	目標	20館	22館	24館
	実績	20館	20館	
	達成率	100%	91%	

岐阜県図書館インプットの変化

	H20	H21	H22	H23	H24	H24の対H20比
図書資料費（千円）	100,000	58,000	29,000	65,840	39,000	39.0%
職員数（人）	56	52	46	47	49	87.5%

アウトプット（参考）

貸出冊数（冊）	1,026,726	1,023,682	946,392	873,156	788,513	76.8%
---------	-----------	-----------	---------	---------	---------	-------